

第93回 経営協議会 議事要録

日 時 令和7年3月19日（水）14時50分～16時00分

場 所 音楽学部大会議室・オンライン

委 員 日比野克彦 学長【議長】、大塚直哉 理事・副学長（教育担当）、
清水泰博 理事・副学長（研究担当）、
君塚 剛 理事（総務・財務・施設担当）・事務局長、
中村政人 副学長（大学改革・渉外担当）、
熊倉純子 大学院国際芸術創造研究科長、
赤羽真紀子 委員、岡田武史 委員、高橋陽子 委員、二宮雅也 委員、
御立尚資 委員、湯浅真奈美 委員、吉本光宏 委員

陪 席 武藤弘和 監事、増 一行 監事、国谷裕子 理事、麻生和子 理事、
岡本美津子 副学長（デジタル推進担当）、
今村有策 副学長（国際連携担当）、光井 渉 美術学部長、
桐山孝司 大学院映像研究科長、
松下 計 附属図書館長、黒川廣子 大学美術館長、
浜田 健一郎 社会連携センター長、亀川 徹 演奏芸術センター長

欠 席 箭内道彦 学長特命（大学改革・ブランディング戦略担当）【陪】
杉本和寛 音楽学部長【陪】

議題

- （1）令和7年度運営費交付金の概要および予算実施計画書（案）について
議長から標記のことについて提案があり、審議の結果、原案どおり承認された。
- （2）東京藝術大学職員給与規則等の一部を改正する規則等の制定について（案）
議長から標記のことについて提案があり、審議の結果、原案どおり承認された。

報告及び連絡事項

- （1）剰余金の翌事業年度への繰越しに係る承認について
標記のことについて、君塚理事から資料に基づき報告があった。
- （2）令和6年度大学機関別認証評価 評価結果（案）について
標記のことについて、君塚理事から資料に基づき報告があった。
- （3）令和6年度資金運用状況報告及び令和7年度資金運用計画について
標記のことについて、君塚理事から資料に基づき報告があった。
- （4）その他（本学の活動近況等）
議長及び清水理事、黒川大学美術館長、大塚理事、桐山大学院映像研究科長、梅木学生課長から、芸術文化における本学の近況について報告があった。

（本学の取り組み）

- ・2024/11/28 <東京科学大学との包括連携>東京科学大学（Science Tokyo）との研究マッチングイベントを実施
- ・2024/12/3-2025/1/13 <JR東日本との包括連携>藝大×JR東日本 上野駅ギャラ

- ・ 2024/11/27-12/3 リー「CREATIVE HUB UENO “es”」展覧会
「芸術未来研究場展」
- ・ 2024/11/27- <株式会社みずほフィナンシャルグループとの包括連携>
「東京藝大アートフェス2024」開催
- 2024/12/8 オンラインイベント実施
- ・ 2025/1/17-2/16 <JR東日本との包括連携>秋田駅ビル アルス地下1階
「あきた まちのえき」にて「あつまる・つくる・あった
まる」を秋田ステーションビル株式会社と共同開催
- ・ 2025/1/31 岐阜県と包括連携協定を締結「アートを活用した共創社会
づくりや地域活性化に取り組みます」
- ・ 2025/4/8 バックヤードで藝大138年の歴史と美をめぐる 東京藝術大
学大学美術館に「魅せる収蔵庫」がオープン！ 内覧会

(主な意見等)

- 私立高専（神山まるごと高等専門学校）は、企業や個人からの拠出金を一般社団法人の基金制度を活用して資産運用し、奨学金を安定的に給付する日本初のスキームを考案した。これは民間企業や個人から、一般社団法人神山まるごと奨学金基金（非営利徹底型）に拠出してもらう。奨学金基金はこれらの拠出金を投資会社に運用を委託し、そこで得た運用益を学校に寄付する。それを学費に充てるとというのが新しいスキームである。そういうところも検討されたいと思った。
- 運用環境が厳しい中で比較的大きく寄与するのは遺贈だと思われる。
- 資金運用では、最初にどれ位長期の投資期間を設定するか決めないとリスクの取りようがない。全部短期で見ていくと、殆どリスクが取れないものになって、利回りの良いものは1つも買えない。そこを議論した上で、どれ位のブレ幅を許容するということを議論した方がよいと思う。
- 人件費は、人事院勧告に従っている以上、増加していくことは避けられないため、予算要求等、継続的な検討が必要である。

以上